

日鶏協速報

香川県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について

本日、香川県三豊市の採卵鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（H5亜型）が確認されましたのでお知らせします。

会員各位におかれましては、野生動物の侵入防止及び畜舎に出入りする際の手指及び靴の消毒、衣類の交換、農場に出入りする車両の消毒等飼養衛生管理基準の順守、飼養家さんの異状の早期発見・通報等について、強化・徹底していただくよう、お願いします。

なお、当協会では高病原性鳥インフルエンザ対策本部（本部長 齋藤会長、副本部長 岡田鳥インフルエンザ問題対策委員長）を設置し、皆様からのご相談を事務局にて受け付けておりますので、ご相談ください。

■農林水産省 鳥インフルエンザに関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

■農林水産省 鳥インフルエンザに関するプレスリリース

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201105.html>

| 農場の概要

所在地：香川県 三豊市

飼養状況：採卵鶏（約 33 万羽）

| 経緯

- (1) 11月4日、香川県は、死亡採卵鶏が増加した旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。
- (2) 同日、当該採卵鶏についてインフルエンザ簡易検査を実施し陽性。
- (3) 本日、当該採卵鶏について遺伝子検査を実施した結果、H5亜型であり、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

高病原性鳥インフルエンザ対策本部 事務局 [一般社団法人 日本養鶏協会](#)
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号馬事畜産会館内（5階）
TEL：03-3297-5515 FAX：03-3297-5519 E-mail：info@jpa.or.jp
担当：浅木、阪本、松崎